



あんずだより

特別号⑫



保育

☆☆☆ あんずにある絵本の紹介① ☆☆☆



←これらは大きな保育室の奥の本棚にある絵本です。開室5年目になり買ったり頂いたり、数もかなり増えてきました。あんずでは体調の悪いお子さんが室内でゆっくり過ごせるよう、子ども達が好きそうなおもちゃや絵本を入室時に用意します。初めての利用や久しぶりの利用でも、おもちゃや絵本があると安心するのか泣くことなく入室できることが多いです。

☐今回はあんずで子どもにも、保育士にも人気がある絵本を紹介します☐



「だれのおめめかな？」
(株) リーバン
“だれのおめめかな？”と仕掛けを開くと可愛い動物たちが登場！！0～2才のお子さんが利用する

時は必ず用意する絵本です。使う頻度が高いので、追加購入しあんずには2冊置いてあります。



「ふみきりカンカン」
(株) ポプラ社
ふみきりの遮断機を下すと「カンカン・・・」と音が流れます。乗り物のおもちゃが好きな2～3才の男の子に大人

気です。もう販売されていない本なので、あんずでは凄く大切に使っています。「カンカン・・・」といった音を鳴らしても大丈夫なように専用電池のストックも常備してあります。



「めっきらもつきらどおんどん」
長谷川 摂子作
(株) 福音館書店
♪ちんぷくまんぷく～めっきらもつきらどおんどん♪この呪文のよ

うな歌も楽しくドキドキするストーリー展開。美味しい餅の木！リズムカルな文章と迫力あるイラストがクセになる、大人でも楽しめる絵本です。あんずでは3才～のお子さんの午睡時に読むことが多いです。



「ミッケ」
糸井 重里訳
(株) 小学館
お話の絵本ではないのですが、5才～小学生に人気のある本です。ページをめく

るとカラフルな写真が目飛び込んできます。下に書いてある「かくれているもの」を探し始めると、大人も子供もついつい夢中になってしまう絵本です。

発行: 2020年9月24日 病児保育室あんず

